

令和8年シラス曳網調査結果 (第2報)

令和8年5月13日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

5月11日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)、
141-10E(水深 40m)、141-15E(水深 54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

13.9°C~15.2°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0~3,904 尾 (合計 4,726 尾)

シラス採捕数は昨年同期(2025年5月15日、0~1尾、合計1尾)と比較し、多い結果となりました。

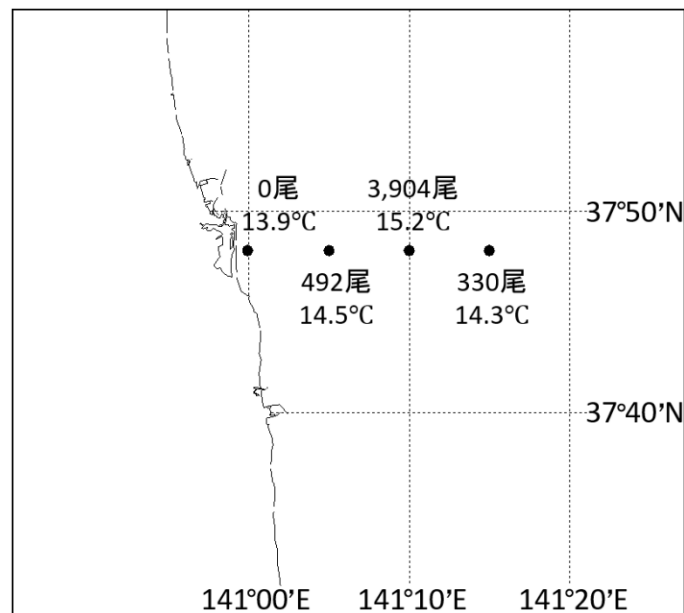


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：8.4～32.4mm

全長 20mm 前後の群のシラスが採集されました。

141-05E では全長 18mm 前後、141-10E では全長 20mm 前後、141-15E では全長 14mm 前後の群のシラスが採集されました。

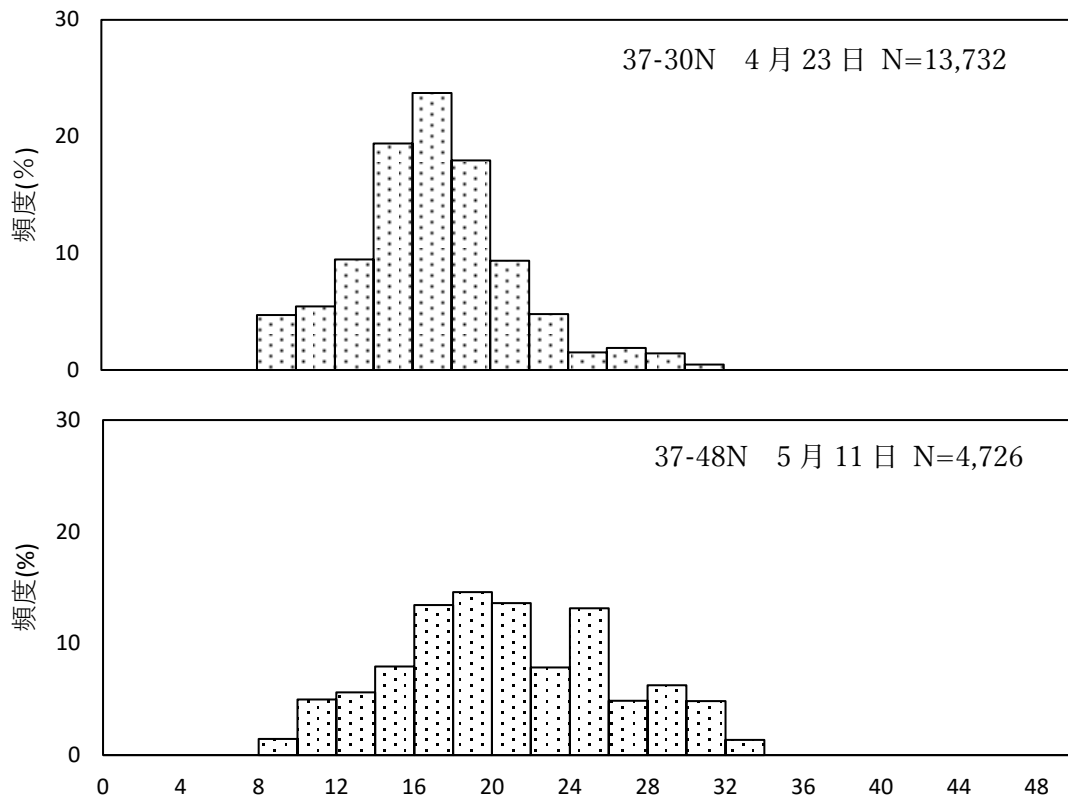


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和8年5月の1定点あたりのシラス採捕数は1,181尾/定点で、平成18年以降で最も多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。今年はいわき地区では5月7日より漁が行われています。

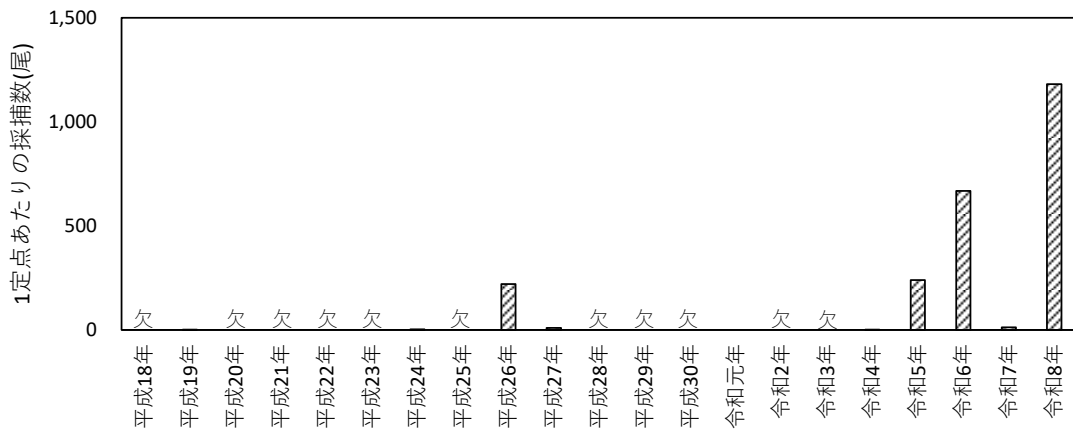


図3 相馬海域における5月の1定点あたりの採捕数

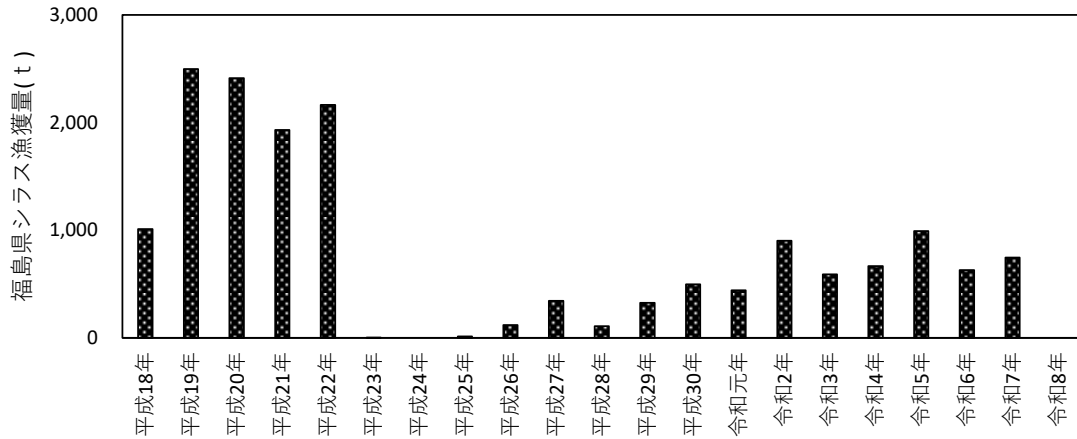


図4 福島県の年別シラス漁獲量